



北海道グリーンファンドの取り組み

～未来のためにできること 自然エネルギーとともに～

NPO法人北海道グリーンファンド

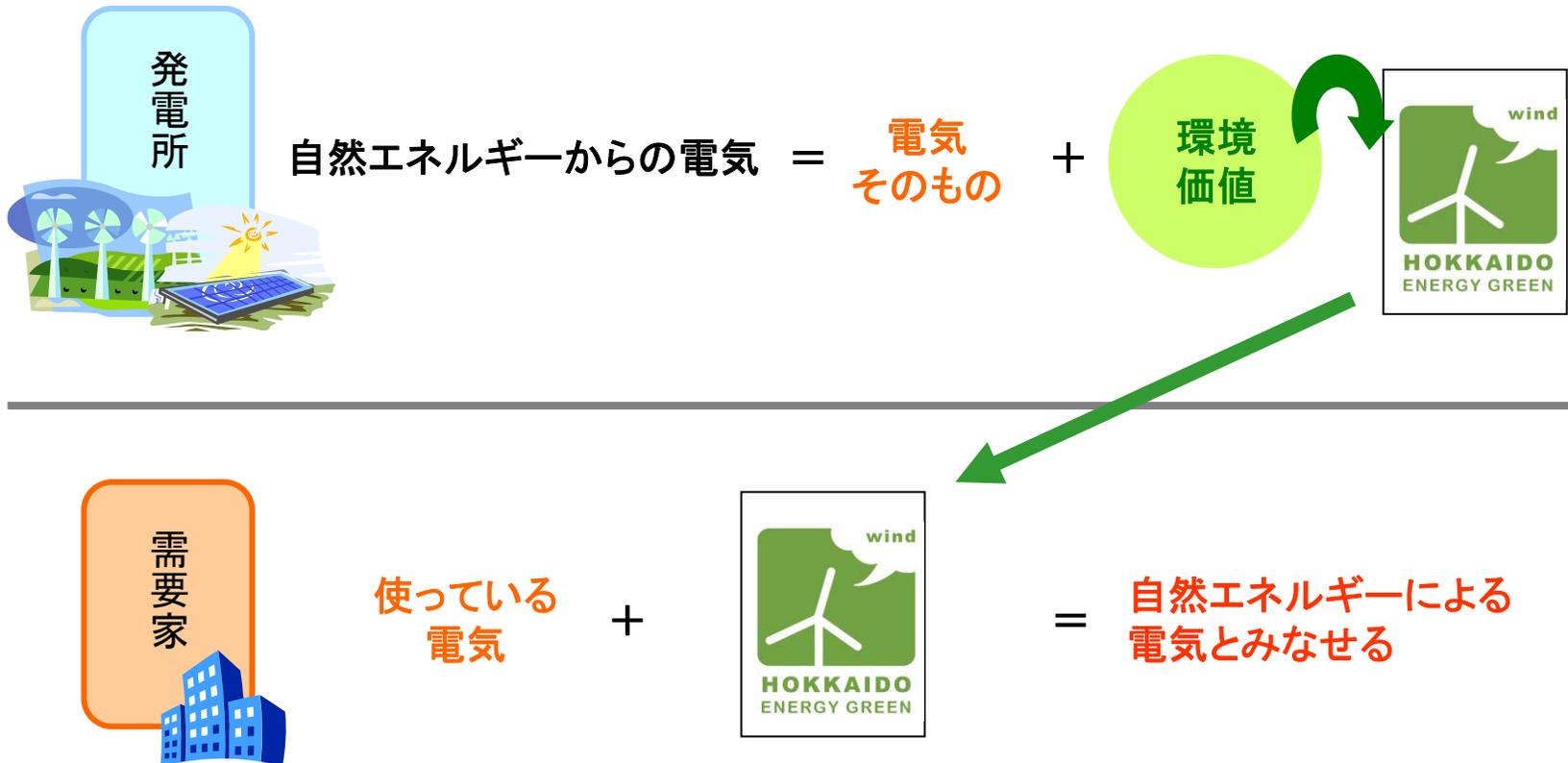
<http://www.h-greenfund.jp/>



「グリーン電力証書」

グリーン電力証書の考え方

グリーン電力証書とは、グリーンエネルギーから得られた電気を、電力そのものと環境付加価値とに切り離し、環境付加価値を証書(グリーン電力証書)の形で電力需要家が保有することで、グリーンエネルギーによる電気(グリーン電力)とみなすもの。

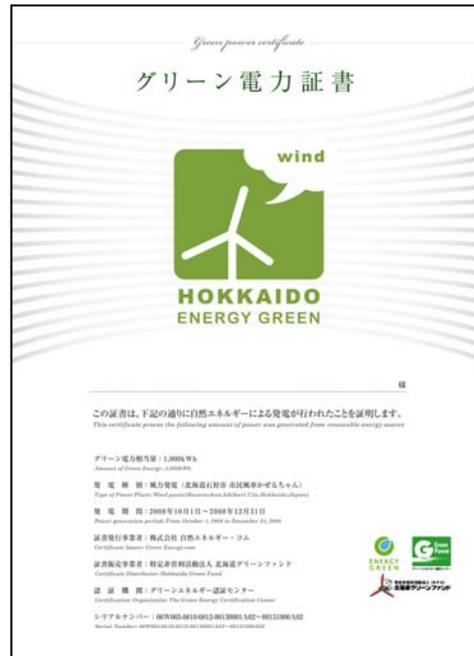


グリーン電力証書の仕組み

いつもの電気に「環境価値」をプラスすることで、
自然エネルギーを間接的に利用できます。



+



=



電力はいつも通り
電力会社から購入

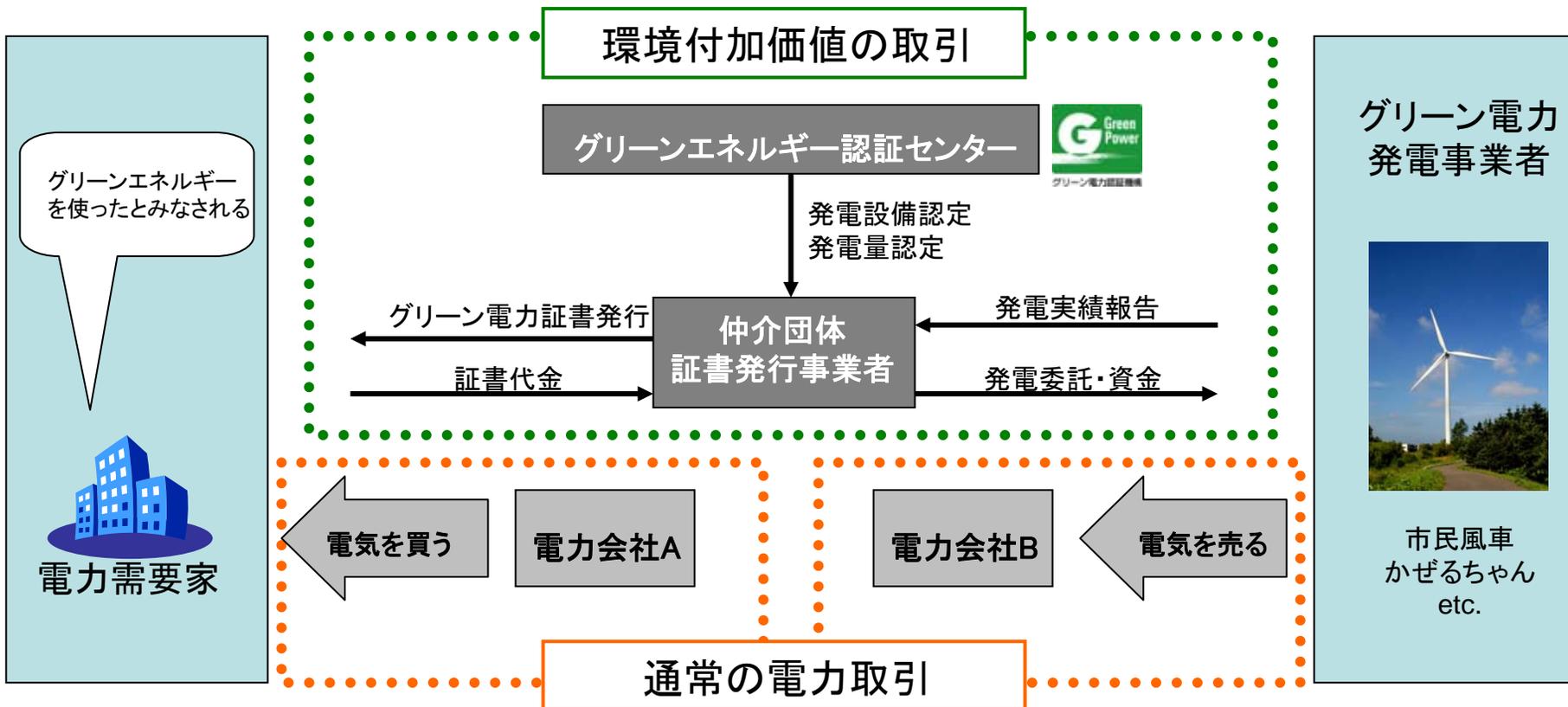
グリーン電力の
対価を支払う

証書購入者が
自然エネルギーを
利用しているとみなせる

グリーン電力証書の認証

グリーン電力証書システム

グリーン電力証書の元となる発電設備と発電量は「グリーンエネルギー認証センター」で認定され、取引される。



グリーン電力証書



発電種別：風力発電
(北海道石狩市 市民風車かぜるちゃん)

グリーン電力の量だけでなく、
発電設備(発電事業者)も
選ぶことができる

グリーン電力証書を発行している市民風車



かぜるちゃん(北海道石狩市)

運転開始: 2005年2月

定格出力: 1500kW

風車メーカー: ベスタス社製(デンマーク)

予想発電量: 400万kWh(1100世帯分相当)

総事業費: 約3億200万円

独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構補助事業

市民出資: 2億3500万円

市民風車の事例として、風こまち(秋田県秋田市)、「まぐるん」ちゃん(青森県大間町)でもグリーン電力証書を発行しています。

事例(1)

商品の付加価値として活用

容器成型に使う電力(3kwh/個)をまかなうため、グリーン電力証書を取得。

株式会社GEL-Design

北海道大学の研究成果の実用化をめざして、機能性ジェル素材の実用化を推進する研究開発型ベンチャー企業。ジェルに関する知見と技術力を生かした幅広い事業を展開しています。

The screenshot shows the website for GEL-COOL PLUS. It features a green and white color scheme with a wind turbine logo. The text describes the product as a 'green electricity' product, highlighting its use of renewable energy and its cooling function. It also mentions the company's commitment to environmental friendliness and its location in Hokkaido.



GEL-COOL(保冷機能付弁当箱)は、こだわりのメイドインHOKKAIDO製品。だから、つくる時の電力も、北海道のものを選びました。北海道石狩市にある市民風車「かぜるちゃん」でつくられた「グリーン電力」です。

ウェブサイトでグリーン電力をPR
<http://www.gel-cool.com/plus.php>

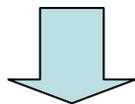
事例(2)

自社活動で使用する電力として活用

株式会社北海道アルバイト情報社

事業活動に必要なエネルギー(電力)を、北海道、環境の観点から2008年4月より、石狩市にある市民風車「かぜるちゃん」のグリーン電力証書10万kWh分を購入しています。

全社で利用する電力の4%分が
風力発電によってまかなわれた。



年間約48トンの二酸化炭素を削減。

The screenshot shows the homepage of HAJ (Hokkaido Arbeit Johosha). The main content is an article titled "[INFO] 「グリーン電力」を導入し、CO2排出削減" (Introduction of Green Electricity and CO2 Emission Reduction). The article text includes:

- 「グリーン電力」を導入し、CO2排出削減
- Last Update: 2008/04/18 09:20:05
- 道内の市民風車で生み出される自然エネルギーを活用
- (株)北海道アルバイト情報社(本社:札幌市中央区 代表取締役社長:村井俊朗)は、2008年4月1日(火)より、(株)自然エネルギー・コム(本社:東京都中央区)が提供する「グリーン電力証書システム」により、北海道グリーンファンドの市民風車「かぜるちゃん」(石狩市)で発電された電力を活用することになりました。
- 当社発行の「アルバイト北海道」をはじめとする全雑誌の求人誌などを印刷・製本する発寒工場の使用電力の内、年間100,000kWh分を「グリーン電力証書」として購入することにより、年間約47.9トンのCO2排出削減に寄与します。
- ※「グリーン電力証書システム」は、風力・太陽光・バイオマスなどの自然エネルギーで発電された電力について、その環境付加価値(CO2排出削減等)をグリーン電力証書として購入することで、その電力を使用していると見なすことができるシステムです。
- ※排出削減量の計算に当たっては、最新の北海道電力の排出原単位である479e-CO2/kWhを使用しています。

参考URL

- グリーン電力証書に関して
- 市民風車「かぜるちゃん」について

特定非営利活動法人北海道グリーンファンド <http://www.h-greenfund.jp/>

Produced by HAJ Corporation (DorsetHCO) Hokkaido Arbeit Johosha Corporation 1996-2008

事例(3)

イベントで使用する電力として活用

展示会・コンサートや、ライトアップ・イルミネーションなどのイベントで使用する電力のグリーン化

◆イルミネーション

さっぽろホワイトイルミネーション

グリーンクリスマスフェスタ(テレビ塔・時計台)

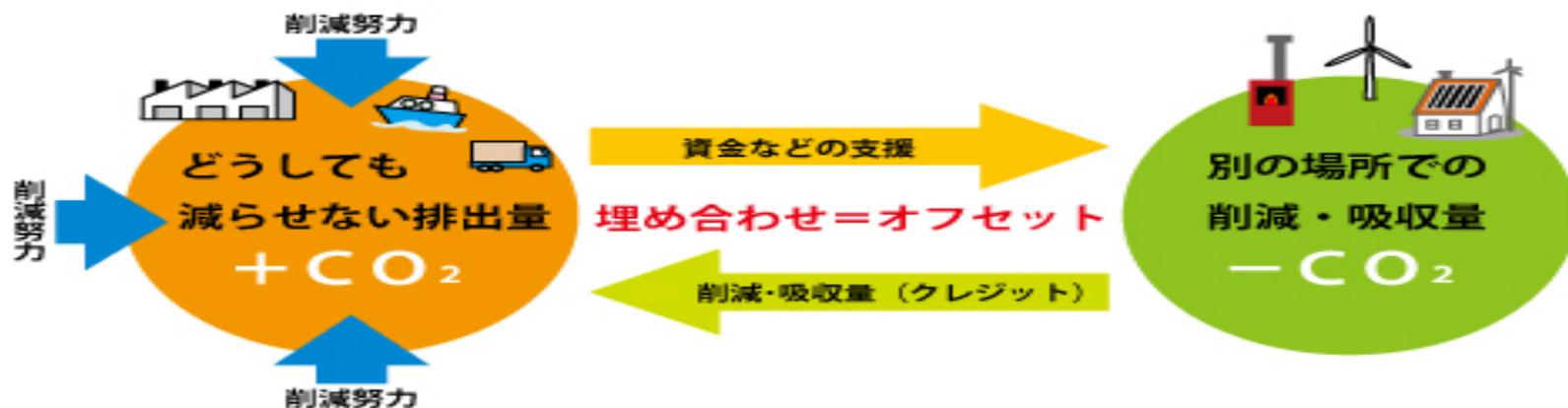
さっぽろドーム



「みんなでカーボンオフセット」

カーボンオフセットとは

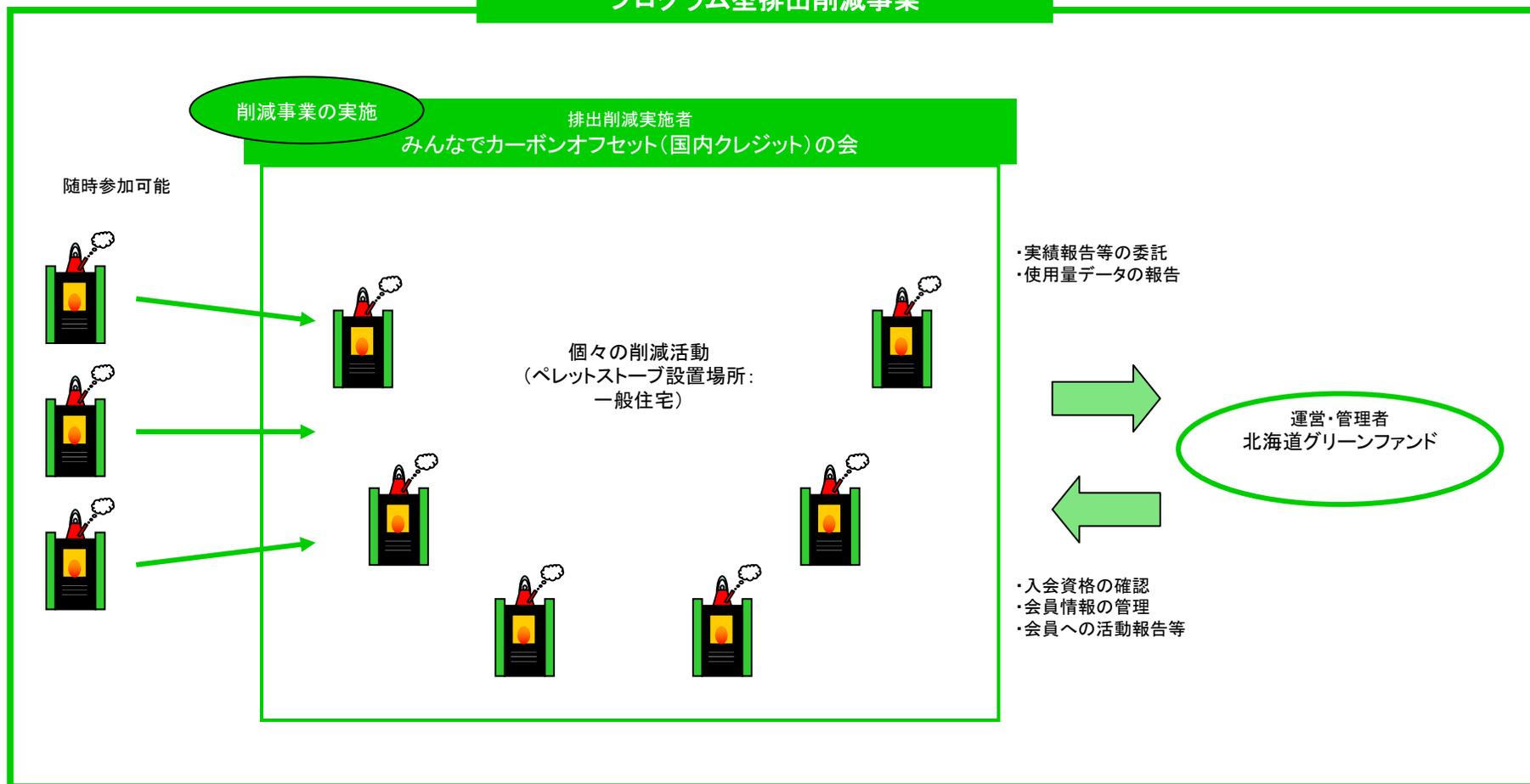
企業活動等において排出したCO₂について削減努力をしたうえで、それでも減らせない分を他の場所で削減したCO₂で相殺(オフセット)する取引のことです。これにより企業等で排出したCO₂を削減したとみなすことができます。



みんなでカーボンオフセット(国内クレジット)とは

本事業は、国内クレジット制度で新たに認められたプログラム型排出削減事業です。
プログラム型排出削減事業では、CO2排出削減事業の運営・管理を行うもの(当法人)が家庭など複数の北海道内ペレットストーブ設置者を取りまとめ、ひとつの排出削減プロジェクトとして扱います。

プログラム型排出削減事業



カーボンオフセット参加証明書



オフセット方法：
市民による自然エネルギー導入
(ペレットストーブ)

北海道内の市民による
環境活動を支援している

飲食店 (café)

バレンタインデー向けのカーボンオフセットチョコレートの商品企画を支援。環境配慮がオフセットだけにとどまらないように、カカオ豆の生産地である西アフリカの児童教育への寄付とセットで、総合的な環境配慮商品とした。



本取り組みの意義について、ユーザーに分かりやすく訴求するコミュニケーションツール（説明カード）の作成を支援。



家庭から出るCO2を1日分(5kg)オフセット+西アフリカへ寄付

自然エネルギー機器販売会社

夏期はバイオディーゼル燃料、冬期は軽油を使用している社用車に対して、軽油使用に伴うCO₂排出をオフセットすることにより、社用車のカーボンニュートラルを実現。一歩進んだ環境配慮活動として支援した。



PR用ステッカー



太陽光発電装置、ペレットストーブ等の機器販売・施工を行っている企業の、事業活動における環境配慮に対する支援を実施。

冬季の軽油使用時に発生するCO₂を5トンをオフセット

イベント(自治体)

大通公園において実施されている冬期のイベントにおいて、従来から取り組まれているリユース食器、木質ペレットストーブの使用からさらに一歩進んだ環境配慮としてカーボンオフセットによるブース運営を支援。



カーボンオフセット参加証明書



本取り組みについて市民向けに分かりやすく訴求するパネル作成についても支援し、マスコミ等に大きく取り上げられるなど注目を集めた。

本部とエコブースで使用する電気・ガス・灯油から排出するCO2(4.5トン)をオフセット

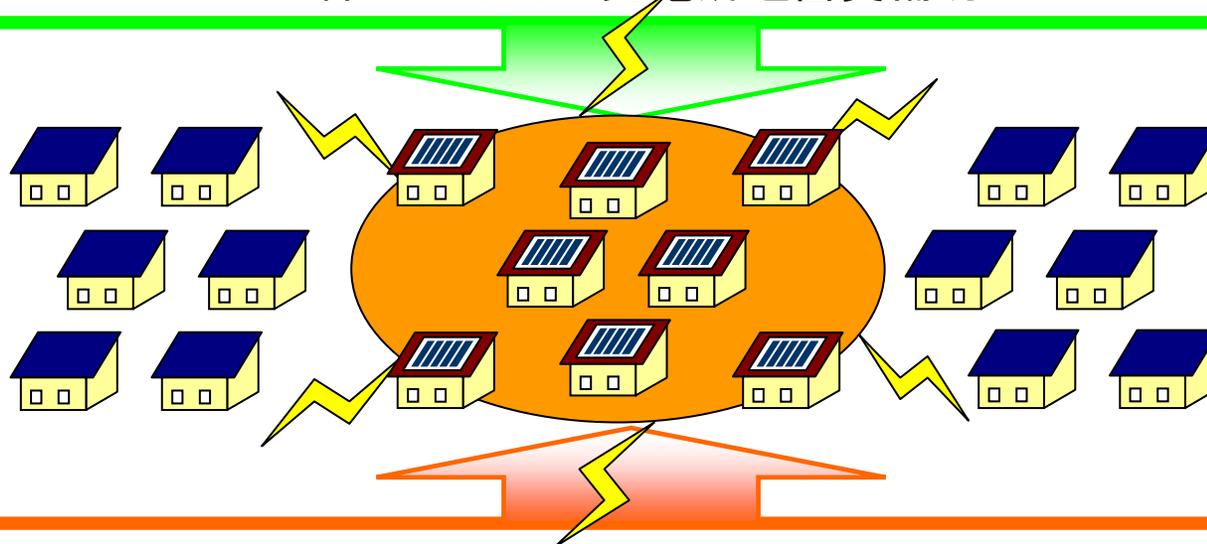
「みんなでソーラー発電所」

「みんなでソーラー発電所」

「みんなでソーラー発電所」は、太陽光の設置を検討されている方を、発電所運営費補助と、各種情報支援で応援し、太陽光発電を広げていく仕組みです。

【グリーン電気料金基金】

1軒 10万円の発電所運営費補助

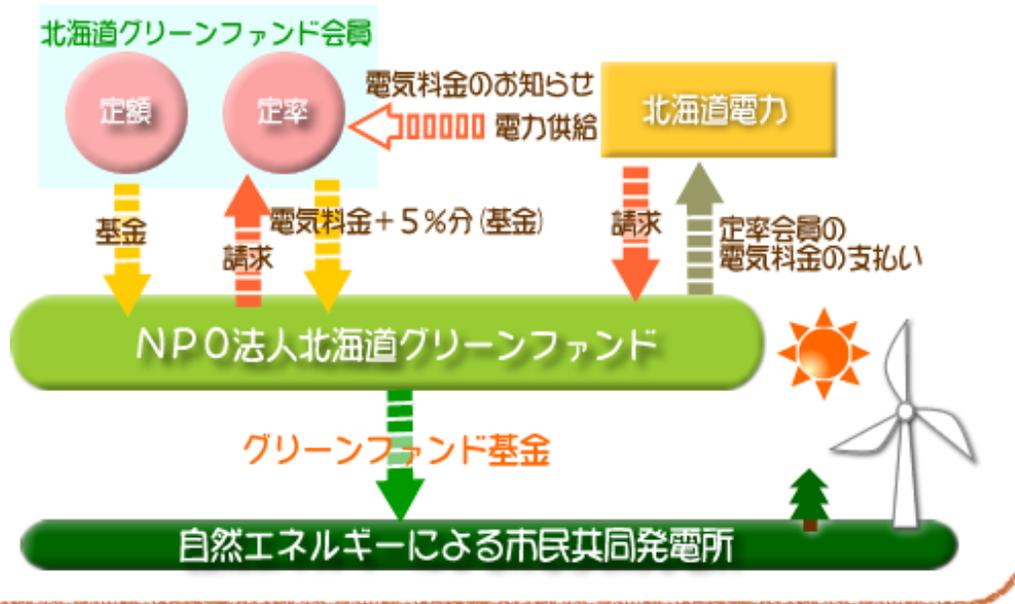


発電シミュレーション、補助金アドバイスなどの情報支援

【北海道グリーンファンド】

グリーン電気料金制度

グリーン電気料金制度仕組み図



①環境にやさしいエネルギー未来への意思表示ができ、誰もが気軽に環境のためになることを継続的に続けられる仕組み(電気代5%の寄付)

②電気代5%の寄付は省エネすることで生み出し、エネルギーの使用量を減らすこと(電気使用量の5%削減)

③電気代の5%の寄付をファンドに、自然エネルギー普及のため市民共同発電所を市民の手でつくること

グリーン電気料金基金の活用

